

骨髄バンク NEWS

井つなげプロジェクトオレンジ
Tsunage Project Orange

未来をつなぐ、
ヒーローたち。

協力：食品館アプロ 旭店

vol.
66

新たに23,999人^{※1}がヒーローに！

累計ドナー登録者数 **1,000,000人^{※2}** 達成！

※1 2024年10月～2025年5月の新規登録者 ※2 2025年5月末時点で563,885人が登録中

HERO'S LIFE

毎号ひとりのドナー登録者にフォーカスし、その方の日常や支援の想いを、写真家・幡野広志さんの視点で切り取っていただく企画。34歳の若さで血液がんを発症した経験をもつ幡野さんに撮影いただいた写真は、表紙にも採用されています。ありのままのヒーロー（登録者）の姿をご覧ください！

表紙モデル
まさや
中村 仁哉さん

39歳の会社員。高校卒業後、アメリカと韓国で農業や植物機能を学ぶ。現在は製薬会社で品質管理の仕事に従事。旅先で献血を続け、これまでに140回以上実施。きっかけは「誰かの役に立ちたい」という自然な気持ち。骨髓バンクにも登録し、静かにできることを重ねている。

協力：風の本屋



1 旅先でも初対面の人から声をかけられる中村さん。取材中も終始笑顔の絶えない方だった。

2 本のおしり代わりに持ち歩いているという、献血ルームで受け取ったメッセージカード。

3 献血で訪れた街を塗った日本地図は、控えめに見せるにはもったいないほどのものだった。

誰かの力になりたくて 地図を塗る献血の旅

「あまり話が上手じゃないので……」

iPhoneで録音を開始した直後に中村さんから細い声でこういわれた。わざわざ断りをいわれなくとも声のトーンでしっかりと伝わっている。初対面の人間と会話して、撮影までされるこの企画によく応募してきたなと思ったけど、ふりかえればこれも中村さんらしさなのだろう。

中村さんは高校卒業後にアメリカの短大へ進学して農業を学んだ。その後さらに韓国の大学へ進学。植物の機能について研究した。英語も韓国語もしゃべれなかったけど、現地での生活を通じて習得したそう。ネイティブスピーカーと会話して言語を習得したのだから、かなりの努力をしたはずだ。

現在39歳、大阪の製薬会社で品質管理の仕事をしている。原料や製品に不純物がないか、水分量のチェックなどを行っているそう。できるだけ残業をせず、なるべく飲み会などにも参加せずに働いている。

休日はスーパーで買った食材で料理をする。それから小説を読むことが多い。この日、カバンにはいつか本は図書館で借りた『アルジャーノンに花束を』だった。本の後半部分にメッセージカードがしおり代わりにはさまれている。「けんけつしてくれてありがとう わたしはげんきにがつこうにいます」と拙い文字で書いてある。

中村さんは三ヶ月に一度くらいの頻度で一人旅をしている。直近では長崎に行った。車やバイクは使わず公共交通機関を利用して、現地では歩いて観光地を巡っている。少し変わっているのが旅先で献血をすることだ。西日本を中心に日本の大半が塗りつぶされた地図を見せてくれた。塗りつぶした都道府県は中村さんが献血をした街だ。地域によって献血ルームでもらえるお菓子が違うそう。沖縄ではちんすこう、仙台は牛タン味の菓子がもらえる。これまでに140回ほど

献血をしている。韓国でも献血をした。

中村さんは献血したときにもらったメッセージカードをしおりにしている。献血をする理由は人の役に立ちたいという気持ちからだ。誰かから教わったわけではなく、子どもの頃から自然とそう考えるそう。

中村さんのおかげで人生が変わった人が日本中に何人もいると思う。学校にいけるようになったり、仕事ができるようになったり、結婚したり育児ができた人もいるかもしれない。孫と遊ぶことができた人もいるかもしれない。

骨髓バンクにドナー登録したのは5年前。きっかけは水泳選手の池江璃花子さんが白血病になったニュースがきっかけ。まだ二度も適合通知が来たことはない。中村さんはぜひ骨髓も提供したいと明るく前向きな表情でいう。

献血事業を担っているのは日本赤十字社で日本骨髓バンクとは別組織だ。だけど献血している層と骨髓バンク登録をする層はたぶん重なるのだと思う。考え方の根底にあるのが「人の役に立ちたい」だからだ。

中村さんがいつも買い物するスーパーで撮影をした。撮影だから商品のカゴにいれるだけで、実際には買わなくていいのだけど、中村さんはお茶を3本買った。それを東京からきた我々取材スタッフ3人によかったら飲んでくださいと渡してくれた。こういう人なんだよなあ。

写真・文 幡野広志

がん患者の率直な想いをブログやSNSで発信している写真家。34歳の若さで血液がんの一種である多発性骨髄腫を発症し、余命宣告を受けた経験を持つ。

ドナー登録者のみなさん、HERO'S LIFE
であなただけのことを紹介させていただきます。どなたでも大丈夫です。お気軽にご連絡をお待ち
しています！

件名に「バンクニュースHERO'S
LIFE」と入力ください



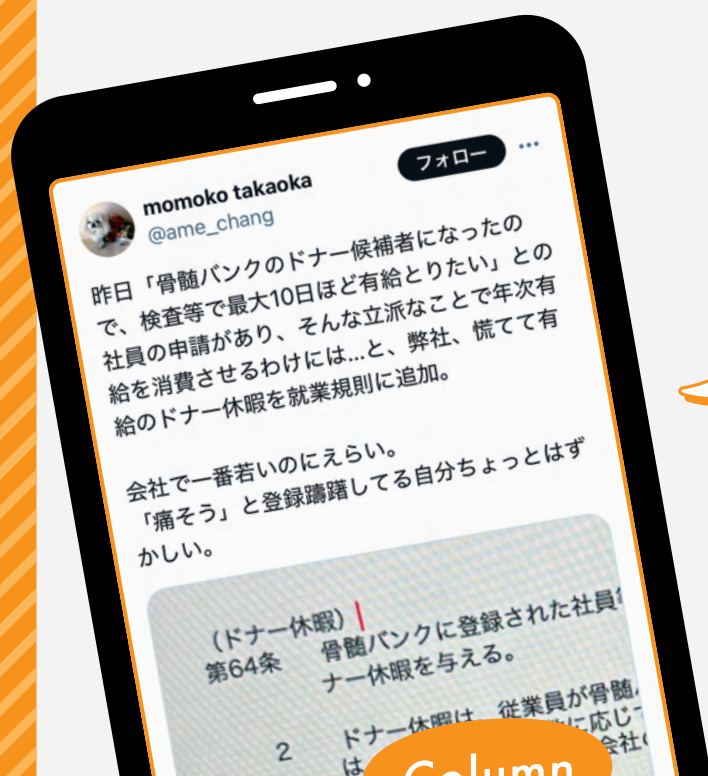
HERO'S SUPPORTER

～ ヒーローを支える人たち ～

♡ 勇気を「仕組み」で支える。

骨髄バンクでは、白血病などの患者さんがドナーからの提供を必要としています。しかし、実際にドナー候補者として選ばれても、さまざまな事情から辞退されるケースが少なくありません。その中でも「職場に迷惑をかけてしまうのでは」という不安が大きな理由の一つです。ドナーとしての一歩は、勇気が必要な決断です。そしてその背中をそっと押してくれる制度の一つが「ドナー休暇制度」です。

そんな制度の存在が、先日SNSで多くの注目を集めました。この投稿は(2025年6月現在)約16万件的「いいね」と、2万件以上のリポストによって瞬く間に拡散され、多くの共感の声が寄せられました。「若者の勇気と尊い志を潰さないでくれてありがとうございます。」「素敵なポストを見てドナー登録の資料請求しました!」といったリプライも多く、制度そのものの大切さに気づいたという人も。



投稿主 ザ・ストリップス株式会社
高岡 桃子さんのコメント

Xでの「うちの会社では考えられない」という反応には驚きつつ、私たちにとっては、社員の行動をきっかけに自然と導入できた制度でした。導入は比較的スムーズでしたが、規則の文言修正には少し迷いました。導入後、ドナー候補になった社員が社内勉強会で制度や献血について話してくれたことで、社内の意識も少しずつ変わっていったのが印象的でした。今後こうした動きが他社にも広がればと願っています。

Column

ドナー休暇制度とは？

What is the donor leave program?



ドナー休暇制度とは、骨髄や末梢血幹細胞の提供にあたって、必要な検査・入院・通院・回復のための休暇を、特別休暇として取得できる制度です。

提供までには10日程度の通院・入院が必要になります。その間、年次有給休暇を使うことなく特別休暇として休めるよう、制度として用意しておくことが、ドナーの大きな支えになります。

現在、ドナー休暇制度を導入している企業はまだ少数。法律で義務付けられているわけではないため、導入には企業の理解と意志が必要です。

ドナー休暇制度について詳しくは、「ドナー休暇制度導入のお願い」の動画(二次元コード先)をご視聴いただければと思います。不安を抱えるドナーの方、ドナーを支えたいみなさん、ぜひお勤め先へ制度の導入についてお話をしてみてください。

ドナー休暇制度導入のお願い



感謝! 累計100万人達成

ちょこっと座談会

骨髄バンクのスタッフたちが、今気になっているテーマや話題について気ままに語り合います!

みなくち

ついに・・・
ドナー登録者、累計100万人を
突破しましたね🎉

すずき

いま骨髄バンクニュースを読んで
くださっている方を含め、これ
までに骨髄バンクに関わって
くださった方のご協力が積み重
なって実った快挙ですね👏

みなくち

ドナー登録が始まった1992年1月
当時、ドナー登録はもっと大変
だったようで・・・。
電話などで「チャンス」を取り寄
せてから、付属している登録予約
ハガキを送付して、登録の日時を
決めないといけなかったみたい
です。

すずき

今は全国の献血ルーム・バスなど
で予約なしでできますから、全然
違いますね!

みなくち

そんな時代から応援してくださった
方々がいて、今も新たに応援の
輪に加わってくださる方も増えて
いる・・・
関わってくださったすべての皆さん
に心から感謝です🙏

すずき

そのとおりですね👏
まずは一区切り。累計100万人
登録、ありがとうございます🎉

みなくち

ここからまた、新しい一歩を踏み
出していきましょう🌟



みなくち

骨髄バンクメンバーになり2年。
趣味は合唱と漫画読み。



すずき

骨髄バンクメンバーになり11年。
趣味はゲームとカラオケ。

骨髄バンクの「今」を 知ることが、患者さんご家族の力に。



Xでは最新の話題や動きをいち早く、LINEでは私たちの活動報告や支援にご参加いただける情報などを定期的にお届けしています。ぜひ、骨髄バンクのSNSをフォローして、想いを広げる活動に参加してください。

LINEの登録は
こちらから



公式Xのフォローは
こちらから



PROJECT REPORT

プロジェクト活動報告

2025.4

#オレンジ30000チャレンジ



チャリティチャレンジ応募数

6,854人

ラジオ放送局数

120局

01

3月1日から始まった本キャンペーンでは、フォロワー3万人を目指して、フォロー&リポストだけで参加できるプレゼント企画「Xチャリティチャレンジ」や、ラジオ番組「#つなげプロジェクトオレンジ」を全国コミュニティFM100局でオンエアする企画を展開しました。目標の3万人には届かなかったものの、多くの方々にご参加、ご協力いただくことができました。キャンペーンは終了しますが、今後もXを通じたつながりづくりを続けていきます。

THE BANK

骨髄バンクドナー登録や献血の必要性を伝えることを目的に、プロスノーボーダーの荒井"DAZE"善正さんが代表を務める一般社団法人SNOWBANKが主催する音楽フェス型イベント。



02

今年で4回目の開催を迎えた本イベントに、骨髄バンクも参加しました。音楽ライブと併せて献血やドナー登録会が実施される中、私たちの活動をより身近に感じてもらえるよう、タトゥーシールの配布やアンケートを通じて、来場者との交流を図りました。THE BANK2025では、74名が献血に協力し、33名が新たにドナー登録。支援の想いを軸に出演者、来場者、スタッフ、みんなが心をひとつにした、希望に満ちた一日となりました。

●ご支援のお願い

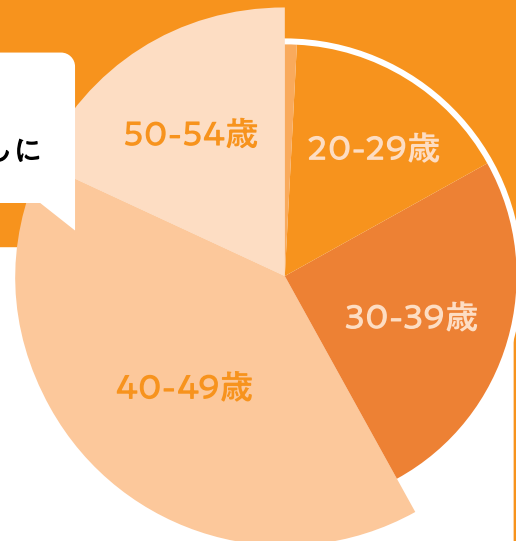
移植を待つ患者さんのために
お力を貸してください

40～50代の多くが
10年以内に登録取り消しに

ドナー登録者の 大卒業時代がやってくる?!

骨髄バンクへの登録には年齢制限があり、満55歳の誕生日で登録取り消しになってしまいます。
15年以内には、現在の登録者のうち約60%の方々がいなくなってしまうという危機的状況に…！
骨髄バンクは、多くの方に骨髄提供について知って頂き、特に若い方にドナー登録を考えて頂けるよう活動しています。

2025年3月末現在



課題解決のため、いただいたご寄付がドナー登録者を増やす活動に役立っています。

みなさまからいただいたご寄付は、ドナー登録会の開催や普及啓発資料の作成などに使用しております。より多くの患者さんに移植の機会を届けられるよう、みなさまの温かいご支援をお待ちしております。



寄付にはさまざまな方法があります

ネット募金からメルカリを使った寄付まで、手軽にご寄付いただける方法が多数ございます。
寄付の詳しい方法などは、右下の二次元コードよりご覧ください。



クレジット
カード



口座振込
・自動引落し



郵便局(ゆうちょ銀行)
窓口で寄付

ネット募金

メルカリ寄付

各種ポイント

その他方法は
こちらから



寄付についてのご相談・資料請求についてのご連絡

寄付専用フリーダイヤル(平日9:00-17:30)



0120-377-465

！ 携帯電話番号、住所などの登録・変更方法

携帯電話番号が変更になった方、まだ登録されていない方は速やかにお手続きください。
適合通知はSMS(ショートメッセージサービス)でお送りします。

登録内容の変更は
こちらから



連絡が取れないことで、命を救う機会を失ってしまうかもしれません。



早くおすすめ！

方法
1

Webサイトで手続きする方

[骨髄ドナー登録者 登録内容変更ページ]

ページ右上の二次元コードリンク先に『アクセスコード』※と必要情報を入力してください。入力したメールアドレス宛に届くワンタイムパスを用いてログイン後、登録内容を確認、変更していただけます。

※アクセスコードは同封の宛名台紙または「骨髄バンクニュースWEB閲覧案内」のショートメールをご確認ください。

bmdc マイページ

検索

方法
2

電話で手続きする方

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。
電話受付時間：平日(月～金) 9:00～17:00

北海道ブロック血液センター

011-613-6683

北海道

東北ブロック血液センター

022-354-7083

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越ブロック血液センター

03-5534-7534

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター

0561-85-4298

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター

072-643-1173

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中四国ブロック血液センター

082-241-1614

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター

0942-31-8974

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※電話番号下の都道府県は管轄地域

方法
3

献血会場で手続きする方

最寄りの献血会場の受付で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。その場で登録情報変更用紙にご記入いただけます。

※献血会場の所在地、受付時間などは、右の二次元コードから日本赤十字社のサイトをご覧ください。



！ ドナー登録者情報の変更は日本赤十字社へ。それ以外のお問い合わせは日本骨髄バンク(03-5280-1789)へお願いします。